

会 議 録

会議名称	令和4年度第5回伊達市史編さん委員会		
議 題	(1) 伊達市史続刊（仮称）の構成案について (2) 伊達市史続刊（仮称）の版型について		
開催日時	令和5年2月1日（水）午後1時30分～午後2時45分		
場 所	伊達市役所本庁舎2階会議室B		
出席者	委員：6名（欠席：0名）、(株)須田製版（市史編さん業務受託者）：3名		
	所管部課名	総務部総務課	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0人
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【会議録】</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 伊達市史続刊（仮称）構成案について</p> <p>これまでの協議内容を踏まえ修正した構成案について、(株)須田製版から説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編(1)近代以前の東蝦夷地・有珠地方のうち、第2章「江戸時代の東蝦夷地と有珠」について、60ページから40ページに減らした。 ・そのほか、章のタイトルで「伊達市の～」は省略できるところは省略している。 <p>以下、質疑応答。</p> <p>委員A：前回の構成案にあった第2編(1)第2章～第5章を、第2章「江戸時代の東蝦夷地と有珠」としてまとめたという認識か。</p> <p>(株)須田製版（以下、須田）：お見込みのとおり。ページ数を減らしたため有珠地域が中心となる。</p> <p>委員B：第2編「伊達市域の歴史」について、前回は全体で220ページだったが今回は300ページとなっている。どこがどのように増えたのか。</p> <p>須田：全体で1000ページの縛りでいくと、現段階ではこの程度になる見込みである。</p> <p>委員C：第2編(2)第2章「仙台藩亙理藩主・伊達邦成主従の集団移住」について、小見出しに柴田家・柴田藩が入っていない。</p> <p>須田：柴田家・柴田藩については、第2章の中で触れるということで整理したいと考えている。</p> <p>(2) 伊達市史続刊（仮称）の判型について</p> <p>候補として、B5判、A4判、AB判があり、前回までの議論でA4判かAB判かに絞られた。</p> <p><主な意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判だと、カバーやケースがつくので、A4ジャストの本棚には入らなくなる。 ・A5判（現在の伊達市史）で1000ページだとAB判では600ページ程度になる。 			

・ A B判はスキャンやコピーがしづらいのではないかと。→片面でA 4、見開きでA 3となり余白が多くなるサイズであるが、ページ数が少なくなり薄くなる分、コピーの時「のど」の部分が開きやすいメリットもある。

・ 情報量が多く、わかりやすいことを考えるとA B判がいいのでは。

・ これまでの市史はB 5判が多かったが、文字を大きくしていることや図表を入れることから、大型化した方が扱いやすいという傾向がある。

⇒議論の結果、A B判で製本することに決定。構成案は1100 ページから660 ページ程度になる。

(3)その他

委員D：伊達市史や新稿伊達町史、大滝村史を読み直したが、その内容を残したいという気持ちになった。デジタル化はできないのか。

事務局：今回の市史編さん業務の中に伊達市史と大滝村史のデジタル化は入っている。

委員D：伊達町史についても是非検討していただきたい。

須田：委員の皆様へ2点お願いがある。1つ目は春に執筆者を連れて伊達を1日回るツアーを検討している。ツアーガイドをお願いできる方はいらっしゃるでしょうか。2つ目は編さん委員の方と個別に取材やヒアリングをさせていただきたい。

委員A：ツアーについては、恐らく1日では回り切れないと思うので、見直していただきたいのと、分野によって担当の割り振りを考えていただければ対応可能だと思う。

委員D：現在、だて観光協会で「伊達市地域ガイド協会」を発足して、地域ガイドの養成を行っている。ガイド協会と連携し、委員と相談しながらツアープランを作る方法もあるのでは。スケジュール案があれば示してほしい。

須田：ありがたい話なので、ご相談させてほしい。

事務局：前回の委員会で話に上がった議事録の関係で、今後は委員長に一度確認していただく流れを取りたい。→委員、了承

委員B：構成案や大きさが決まったが、今後は具体的にどのように委員会が動いていくのか。

須田：今後は執筆作業に入っていく。今年は、先程申し上げたツアーや個別のヒアリングの実施、また、詳細な項目案についての検討に加え、原稿ができ次第、校正作業をお願いしたい。

委員E：以前提示されたスケジュールに沿って進むという理解でよいか。

須田：お見込みのとおり。

須田：構成案について1点相談したい点がある。第4編第1章第3節「大滝区の産業」について、大滝区は「福祉産業」も記述する必要があることを考えると、「農業と林業」の下に置くのは不適切かもしれないと考えているがどうか。

委員 E：大滝区の産業は、これまで「農業」「観光」「福祉」の3本柱であったが、福祉はほとんどが伊達に移転しているという経緯を考えると、成り立ちとしては必要だが、あえて福祉を立てる必要があるのかと思う。個人的には大滝は伊達市に溶け込ませてほしいという思いがあり、大滝の福祉は第5編「厚生」の中で記述していいのではないと思う。

須田：福祉を「大滝の産業」として括るなら第4編、伊達の「福祉」として括るなら第5編になると考える。執筆者の意見を聞きながら検討することでよいか。

委員 B：以前の委員会で「大滝と伊達を分け隔てなく」と言われていたが、今後大滝村史というものは世に出ないので、伊達市史の中で大滝を取り上げなければならない。執筆者の意見よりもこの委員会の中で決定し、それに基づいて執筆していただくのが筋ではないかと思う。私は少なくとも今回の市史に関しては、大滝を堂々と項目立てて掲載するべきだと思う。

委員 E：例えば農業でいうと、大滝と伊達では気候が全然違うが、項目の中で記述を網羅してもらえればいいのではないかと思う。

須田：各項目の中で大滝にあるもの、あるいはこれまでであったもの、それが大滝のものだと明示して記述することは可能であり、まだ、項目が大きいので、詳細を詰めていく中で節や小見出しで扱っていく方法は取れる。

委員 A：地区ごとに実際に歩いて感じたことだが、地区ごとに残しておくべきことや地区ごとの面白さがあることを痛感した。大滝は大滝として伊達にはないものがある。そこで成り立って産業があるので、それを歴史として残すべきであるという思いがある。「大滝の産業」はそのまま残した方が良いのでは。

須田：産業について大滝を一つにまとめるか、また、それ以外の第5編から第7編をどう扱うかなど、統一して考えなければならないと思う。

委員 B：他の編と整合性を持たせるのはその通りだが、第4編の産業以外は行政の中の項目がほとんどである。産業については歴史を含めて違うので、話が違うかと思う。

委員 A：第4編の産業は成り立ちや歴史的背景を含めて伊達と大滝の違いを明示した方が良いのでは。他は法的な根拠に基づいたりしているので、特別分ける必要はないと思う。

須田：これまでの議論を踏まえ、第4編「産業と経済」の第1章から第4章で伊達地区の記述をし、第5章で「大滝の産業」と章立てをして記述するという方針でよいか。

→委員、了承

事務局：次回の委員会は、ツアーや各委員とのヒアリングなど具体的な調整が終わってから、改めてお知らせする

3. 閉会

【資料】伊達市史続刊（仮称）構成案

(合計)	1,101
カラーグラビア	16
第1編 自然環境編	140
第1章 地形・地質・土壌	35
第2章 気象	15
第3章 植物	30
第4章 動物	30
第5章 伊達市の地名	30
第1節 伊達地区の地名	
第2節 大滝区の地名	
第3節 アイヌ語地名	
第2編 伊達市域の歴史	300
(1) 近代以前の東蝦夷地・有珠地方	100
第1章 先史時代からアイヌ文化の成立期まで	60
第2章 江戸時代の東蝦夷地と有珠	40
(2) 伊達市域の発展	200
第1章 伊達市域のあゆみ	20
第2章 仙台藩互理領主伊達邦成主従の集団移住	20
第3章 明治維新から3県時代	20
第4章 北海道庁時代	20
第5章 大正期から昭和期前期（終戦まで）	20
第6章 終戦から平成期まで	20
第7章 各集落（中央を除く8地区）のあゆみ	40
第8章 大滝村の歩み	20
第9章 伊達市と大滝村の合併	20
第1節 伊達市・壮瞥町・大滝村の3市町村の合併構想	
第2節 壮瞥町の脱退	
第3節 新・伊達市の設立－伊達市と大滝村の合併	
第3編 行政編	150
第1章 平成から令和期までの伊達市（概説）	30
第2章 総合計画の策定と推進	30
第3章 市民自治の推進	30
第4章 人口と世帯数の推移	30
第5章 財政	30
第4編 産業と経済	130
第1章 農業と林業	80
第1節 農業	
第2節 林業	
第3節 大滝区の産業	
第2章 水産業	10
第3章 商業と工業	20
第4章 観光	20
第5編 厚生	80
第1章 福祉・医療・公衆衛生	50
第2章 社会保障	30
第6編 生活環境	115
第1章 都市計画と土地利用の推移	15
第2章 上下水道と住宅政策	15
第3章 公園整備と緑化の推進	15
第4章 道路と河川の整備	15
第5章 運輸と通信	15
第6章 災害の記録と防災	20
第7章 警察と消防	20
第7編 教育と文化	130
第1章 学校教育	30
第2章 社会教育	30
第3章 文化活動	30
第4章 宗教・まつり・イベント	40
第1節 宗教	
第2節 祭り	
第3節 イベント	
資料編	40
伊達市総合年表	
行政関係資料（平成6年以降の資料とする）	
伊達市と大滝村の合併関係資料	
新市建設計画	
伊達市の文化財	
歴代の首長・議長・議員	
名誉市民	